

大野城市芸術文化振興プラン（中間見直し概要版）

プラン策定の目的

芸術文化は人々の心に寄り添い、自主性の尊重、人を思いやる心の醸成等、豊かな人間性を育む上で重要な役割を担っています。本市では、すべての市民が生涯のあらゆる時期において、芸術文化に触れ、豊かで潤いのある市民生活を送るとともに、芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくりを進めていく必要があります。大野城市芸術文化振興プラン（以下「プラン」という。）は、市民一人一人にとって芸術文化がより身近なものとなる施策を包括的に進めることを目指し策定しました。

プランの位置付け

「文化芸術基本法」に示された「地方文化芸術推進基本計画」と位置付けるとともに、本市のまちづくりの最上位計画である「第6次大野城市総合計画」の都市将来像を芸術文化の面から達成していくための部門別計画として策定しています。

プランの計画期間

計画期間は、令和元(2019)年度から令和10(2028)年度とします。なお、中間年度である令和5(2023)年度に、現状に即し、必要な見直しを行います。

目指すべき将来像

芸術文化 ふれあい 織りなす 大野城

プランでは、地域の中での人と人とのつながりを大切にしながら、あらゆる分野をつなぎ、ふれあいが生み出されるよう、芸術文化の持つ価値や役割を活かした取組を進めていきます。

方向性・テーマ

目指すべき将来像のもと、芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくりの実現を図るための方向性として、5つのテーマを設定しています。5つのテーマが相互に連携し、高め合いながら将来像の実現に向け、施策に取り組みます。

感じよう（感動）

知ろう
（情報・理解）

行こう
（参加）

芸術文化について、知って、行って
（体験して）みることで感動が生まれる

創ろう（創造）

育てよう
（育成・養成）

つながろう
（連携・融合）

活かそう
（資源活用）

芸術文化に触れる人を、育成し、それぞれがつながり、
それらを活かしていくことで創造が生まれる

見直しの考え方

令和5(2023)年度に実施した「芸術文化活動に関するアンケート調査」やこれまでの取組を検証し、プランが目指す将来像の実現と現状の課題解決に向けて、プラン期間の後期5年間で重点的に取り組むことを明記しました。なお、見直しに当たっては、令和6(2024)年度からはじまる「大野城市教育施策大綱」で示されている基本方針との整合も図っています。

数値目標

プランでは、基本施策ごとに、中間年度における数値目標を定めています。市民アンケート調査にて、確認を行った現状値は以下のとおりです。中間年度時点の達成状況をもとに、令和10(2028)年度に向けた新たな数値目標を定めました。なお、目標を達成していない基本施策については、令和5(2023)年度（中間見直し）の目標値を据え置くこととします。

今後は、新たな数値目標達成に向けて取組を進めていきます。

基本施策	指標	目標値 (R5)	現状値 (R5)	目標値 (R10)
1-(1)	芸術文化の情報発信が不十分であると感じている人数	70人/1,000人 (7.0%)	316人/1,000人 (31.6%)	70人/1,000人 (7.0%)
1-(2)	芸術文化が必要だと思う人数	800人/1,000人 (80.0%)	833人/1,000人 (83.3%)	930人/1,000人 (93.0%)
2-(1)	芸術文化を鑑賞した人数	800人/1,000人 (80.0%)	425人/1,000人 (42.5%)	800人/1,000人 (80.0%)
	芸術文化の実践活動をした人数	400人/1,000人 (40.0%)	209人/1,000人 (20.9%)	400人/1,000人 (40.0%)
3-(1)	活動規模が大きくなっていると思う文化団体の数	20団体 (年間1団体の増)	16団体	20団体
3-(2)	芸術文化に関する相談件数	年間5件	8件	年間16件
4-(1)	活動内容が充実していると思う文化団体の数	30団体 (年間1団体の増)	23団体	30団体
4-(2)	子どもや高齢者、社会的少数者（障がい者、外国人等）が中心となった芸術文化イベントの参加者数	40人/1,000人 (4.0%)	425人/1,000人 (42.5%)	820人/1,000人 (82.0%)
5-(1)	大野城市の芸術文化施策に満足している人数	600人/1,000人 (60.0%)	648人/1,000人 (64.8%)	810人/1,000人 (81.0%)

※数値目標の「%」は、実施した市民アンケートの結果から抽出したものであり、「人数」については、市民アンケート調査結果の数値を1,000人当たりに換算したものです。また、団体数については、文化連盟に対するアンケート調査の結果から抽出したものです。

1 知ろう（情報・理解）

基本施策（１）芸術文化活動の情報発信体制の充実

実行プラン① 芸術文化活動情報発信の基盤整備

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化情報サイトの構築及び周知

実行プラン② 芸術文化に関する情報内容の充実

（重点的に実施する取組）

- 情報をより多くの市民に伝えるためのプッシュ型情報発信方法の検討及び実施【新規】

基本施策（２）芸術文化がもたらす魅力を伝える活動の推進

実行プラン① 芸術文化の魅力伝える機会の創出

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化の多様な魅力を伝える機会の創出【新規】
- 芸術文化レポーター制度の構築【新規】

2 行こう（参加）

基本施策（１）芸術文化に興味を持ち、誰もが体験・鑑賞できる環境づくり

実行プラン① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化活動の入口を作るための環境整備及び考え方の普及【新規】

実行プラン② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出

（重点的に実施する取組）

- 市や大野城まどかびあによる地域（各コミュニティセンターや公民館、学校等）での芸術文化イベントの実施及び支援

3 育てよう（育成・養成）

基本施策（１）芸術文化の創造・継承活動の多面的な支援

実行プラン① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成

（重点的に実施する取組）

- 多様なジャンルを体験できる機会の提供

実行プラン② 芸術文化活動の企画・運営者（団体を含む。）への支援

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化情報サイトでの各団体のPR及び支援情報の一元化【新規】
- ファシリテーター養成講座の実施【新規】

基本施策（２）芸術文化を活かす担い手と受け手をつなぐ機能の充実

実行プラン① 芸術文化活動を支える人材の育成

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化が社会とつながるための仕組みづくり（アートマネジメント研究等）【新規】

実行プラン② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実

（重点的に実施する取組）

- （仮称）よろず相談所のあり方の整理及び仕組みづくり

4 つながろう（連携・融合）

基本施策（１）団体や芸術分野を超えた交流の促進

実行プラン① 芸術分野がつながる活動の推進

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化情報サイトを軸とした活動団体や芸術分野を超えた交流会の実施【新規】

基本施策（２）芸術文化を通じた「社会参加」「交流」の機会を広げる環境づくり

実行プラン① 芸術文化活動を通じて全ての人が地域と関わる機会の充実

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化活動を通じた社会参加の機会を生み出すための取組の実施【新規】

実行プラン② 芸術文化の他分野への活用

（重点的に実施する取組）

- 部門間連携会議のプラン進捗に沿ったより良いあり方の整理及び実施
- 福祉、教育、商工業等、他分野で芸術文化を活用してもらうための取組の実施【新規】

5 活かそう（資源活用）

基本施策（１）芸術文化に関わる多様な資源を活かす仕組みづくり

実行プラン① 芸術文化活動を行う個人・団体のネットワークの構築

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化情報サイトを核とした個人・団体のネットワークを活かす仕組みづくり

実行プラン② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援

（重点的に実施する取組）

- 「大野城心のふるさと館」を活用したイベントの実施支援

実行プラン③ 芸術文化の活動場所の把握

（重点的に実施する取組）

- 芸術文化活動ができる新たな施設、空きスペースの調査と情報の可視化